

図5 年間に供給する製品数量 (合計) ⑤座位支持面

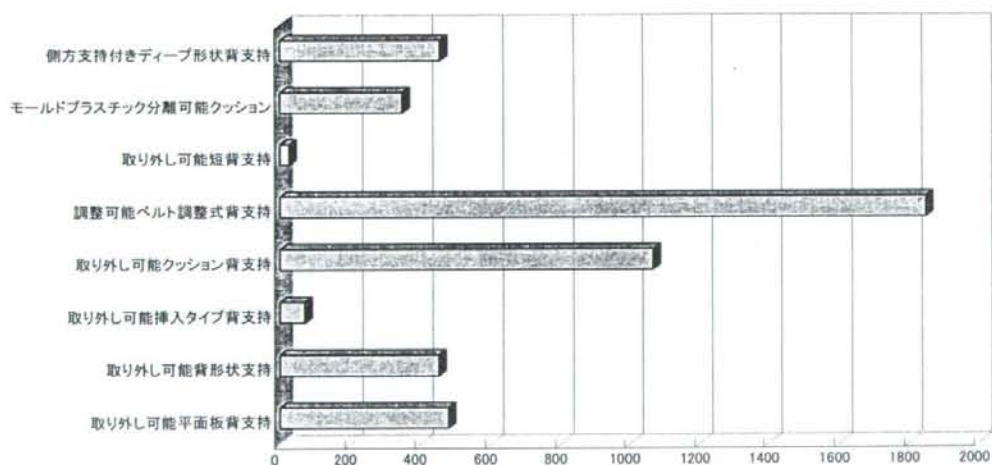


図6 年間に供給する製品数量 (合計) ⑥背支持面

④骨盤前方支持では、車いす装着のパッドの付いていない布製のベルト 765、車いす装着のパッドの付いていない終端長さ調節可能な布製のベルト 1142、パッドとはと目がすべる布製のベルト 1、パッドとはと目が縫われている布製のベルト 258、パッドとはと目が縫われている終端長さ調節可能な布製のベルト 393、ラッチバックル 57、押しボタン式バックル 481、側方外し式バックル 1267、その他 475 になる。④骨盤前方支持では、「側方外し式バックル 1267」、「車いす装着のパッドの付いていない終端長さ調節可能な布製のベルト 1142」が多く、「車いす装着のパッドの付いていない布製のベルト 765」がこれらに続いている。「パッドとはと目がすべる布製のベルト 1」と「ラッチバックル 57」を除けば、各ベルトとも製作用されている。

⑤座位支持面では、ドロップフックを使用した合板とコンターフォーム 136、ドロップフックを使用した合板とブロックフォーム 228、ドロップフックが使用されていない固定板挿入型 188、モールド型 2743、その他 650 になる。⑤座位支持面では、「モールド型 2743」が大部分になる。

⑥背支持面では、取り外し可能平面板背支持 480、取り外し可能背形状支持 453、取り外し可能挿入タイプ背支持 70、取り外し可能クッション背支持 1066、調整可能ベルト調整式背支持 1847、取り外し可能短背支持 26、モールドプラスチック分離可能クッション 350、側方支持付きディープ形状背支持 456 となる。⑥背支持面では、「調整可能ベルト調整式背支持 1847」が多く、「取り外し可能クッション背支持 1066」が続いている。

3.2 故障、破損、調整のずれなどの発生頻度

次は、故障、破損、調整のずれなどの発生頻度についての結果で、①頭部支持に関するグラフである（図7～11）。以下のグラフは頻度を五段階で表している、左の端が、「めったにない」から、右の端が「しばしばある」に段階的に変化しているものである。以下のグラフは、「しばしばある」の頻度が比較的高い項目についてピックアップして示しているものである。グラフの縦軸は件数で、最大14件に合わせた。ここでピックアップしたものでは、「調整のずれ」が比較的多く問題になっていることが分かる。

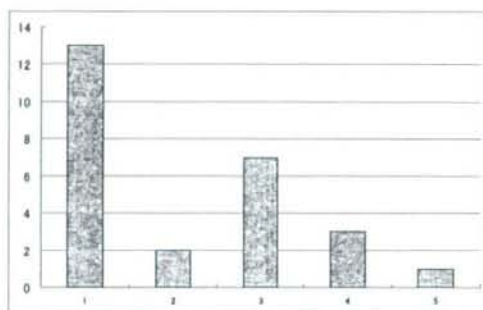


図7 背支持に固定の高さ調整可能な頭部支持「調整のずれ」

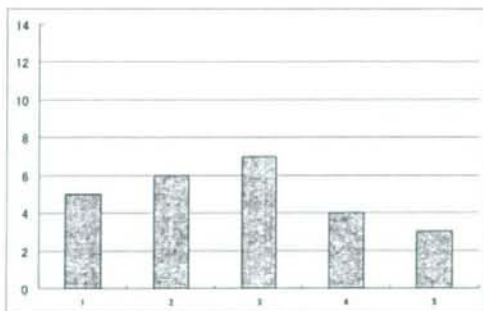
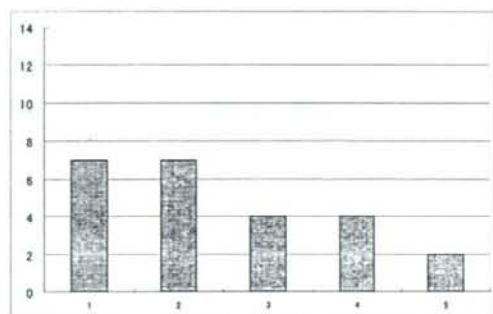
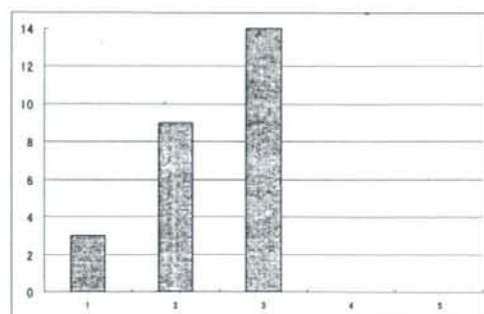


図8 背支持から取り外し可能な高さ・前後調整可能な頭部支持「調整のずれ」



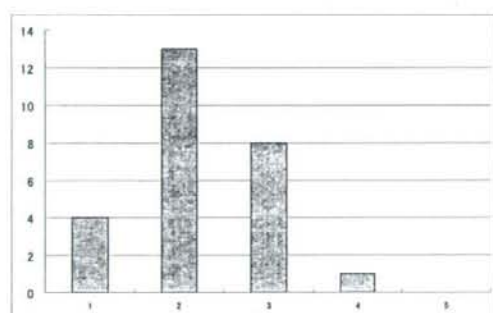
めったにない ← → しばしばある

図9 多方向調整可能な頭部支持「調整のずれ」



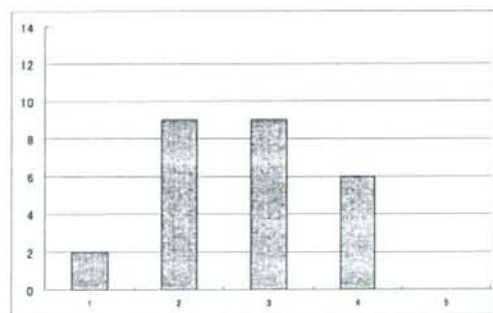
めったにない ← → しばしばある

図12 ①頭部支持、パッドフォーム「圧縮性能の低下」



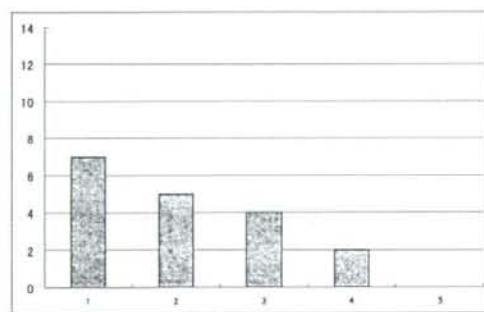
めったにない ← → しばしばある

図10 ①頭部支持、パッドカバー「パッドフォームの擦り切れ」



めったにない ← → しばしばある

図11 ①頭部支持、パッドカバー「表面の劣化」



めったにない ← → しばしばある

図13 ②足部支持、足首周囲支持「縫い目のほつれ」

図14～18は④骨盤前方支持の設間について、結果をグラフ化したものである。全般的に、めったにないが多いものの、しばしばあるも少ないながらも存在しており、問題がある場合もある様である。

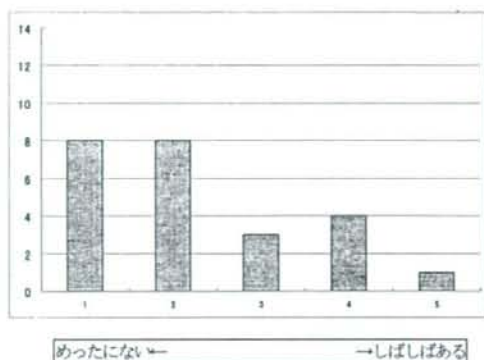


図14 ④骨盤前方支持、装着時に調整がずれる

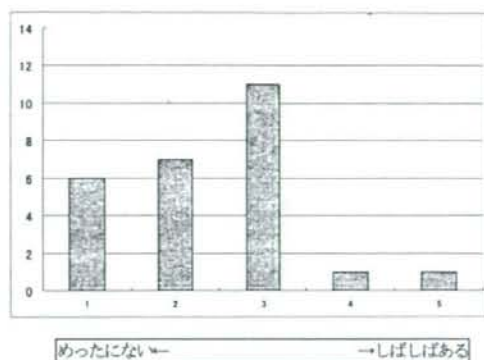


図17 ④骨盤前方支持、パッドの柔らかさや形状の変化

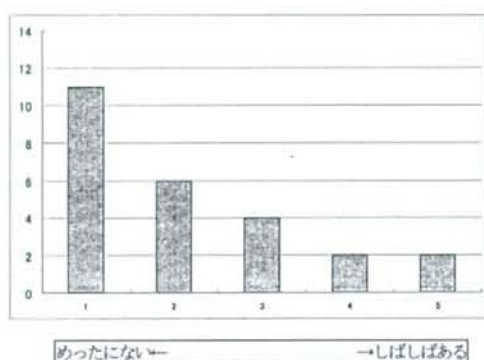


図15 ④骨盤前方支持、締め付け困難か、時間とともに緩む

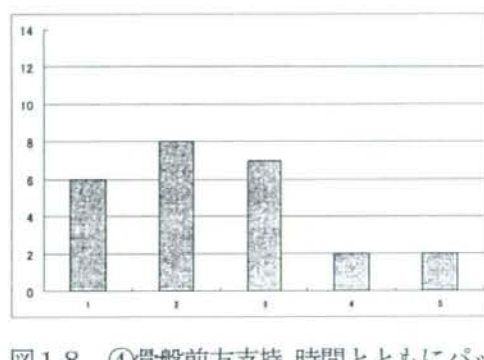


図18 ④骨盤前方支持、時間とともにパッドがずれる

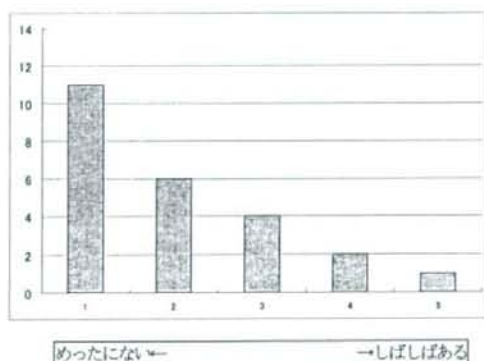


図16 ④骨盤前方支持、人間をベルトで必要位置に固定できない

3.3 破損原因の推定

破損原因の推定である。破損原因について、1. 製品の不適切な使用、2. 誤用または製品寿命、3. 製品の設計、のどれに当てはまるかを推定して貰った結果を纏めたものである(図19)。全般的な傾向としては、部品により、破損原因は多少異なっているようであるが、全ての部品について、誤用および製品寿命が高い値を示している。製品の不適切な使用が次に多く、製品の設計は比較的少ない。また、頭部支持では全体の件数が他の部品に比較して多いが、製品の不適切な使用が比較的高い値を示している。また、製品の

設計も比較的高い値になっていることから、
頭部支持が他の部品に比較して問題がある
ことが推定される。

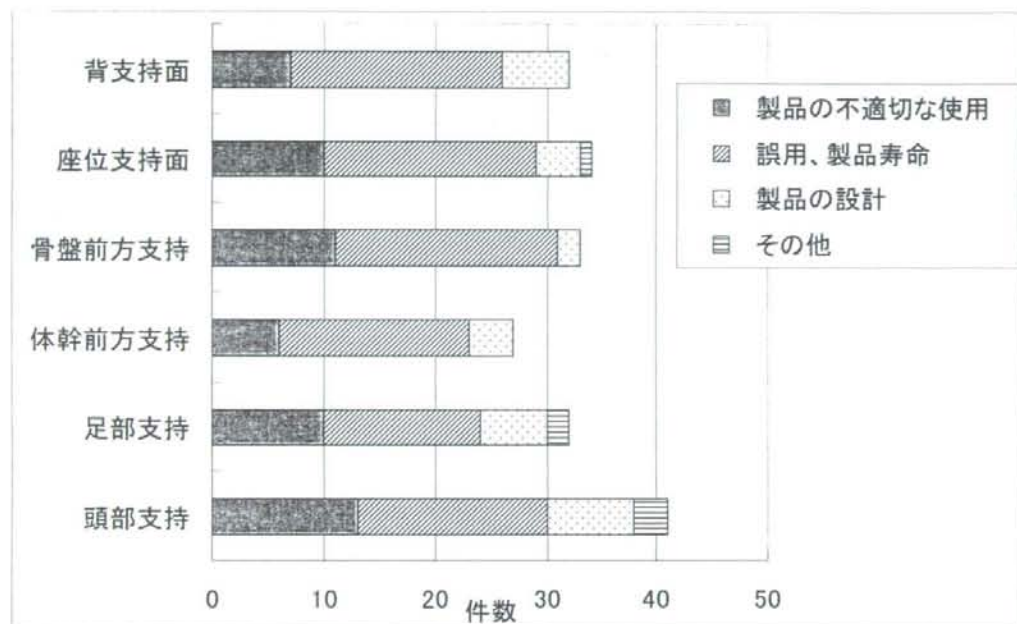


図19 破損原因の推定

G. 結論

座位保持装置部品の試験評価法の開発においては、厚生労働省の「座位保持装置部品の認定基準及び基準確認方法」に規定された試験のうち、試験装置が無かった静的荷重試験と耐荷重試験が実施可能な耐荷重試験装置を開発した。ほぼ当初の目的通りの仕様を満たす試験装置が開発されたことが確認出来た。

次に昨年度に引き続いての完成用部品の指定申請における工学的試験データの検討から、早急に確認すべき試験項目を選出した。結果は昨年度と同様ではあるが、一部、傾向が異なる結果が得られた。全体としては、こ

れらの試験基準は、試験基準としての問題はないと考えられた。また、2年間の確認でデータ数は増えており、より信頼性が高い結果になっていると考えられる。

座位保持装置の破損情報の収集については、データがなかなか得られないため、積極的にデータ数を増やしていく必要がある。現在集まったデータからは、各個人固有の使い方に関連した破損を確認しており、データ収集の必要性が示唆されている。

収集出来た破損部品による破損原因の推定では、走査型電子顕微鏡により破損原因の推定が可能であった。今後、データを増やしていき、データの信頼性を増していくことが必要である。

破損に関するアンケート調査では、数は少ないものの、実際に座位保持装置を製作している製作事業者に対してアンケート調査を実施することが出来た。破損に関する一般的なデータが得られたものと考えられる。今後、日本以外でのデータが得られれば、国別の比較なども可能になり、より詳細な分析が出来る様になるのではないかとと思われる。

最終的に厚生労働省の「座位保持装置の認定基準及び基準確認方法」の見直し、改定に貢献するとともに、国際規格 ISO / TC173 (Assistive products for persons with disability) / SC1(Wheelchairs) / WG11(Wheelchair seating) の審議に活用、反映していきたい。

H. 研究発表

- 1) 相川孝訓, 廣瀬秀行. 座位保持装置用部品の衝撃試験条件についての検討. 第23回リハ工学カンファレンス講演論文集. 2008. p.149-150.
- 2) 相川孝訓, 廣瀬秀行. 座位保持装置の工学的試験評価基準. 第24回日本義肢装具学会学術大会講演集. 2008. p. 128-129.
- 3) Hirose, H., Aikawa, T., Nakai, K. Measurement of the User's Load on the PSDs for a Long Period of Time, 24th International Seating Symposium, Vancouver, BC Canada, 2008-03-06/03-08. Syllabus, 2008. p.279.

I. 文献

- 1) 相川孝訓, 平成18年度厚生労働科学研究費補助金（障害保健福祉総合研究事業）座位保持装置の評価基準の作成に関する研究 総括・分担研究報告書. 国立身体障害者リハビリテーションセンター, 2007-03.
- 2) 相川孝訓, 平成19年度厚生労働科学研究費補助金（障害保健福祉総合研究事業）座位保持装置の評価基準の作成に関する研究 総括・分担研究報告書. 国立身体障害者リハビリテーションセンター, 2008-03.
- 3) 座位保持装置部品の認定基準及び基準確認方法の策定について <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2003/12/s1225-8.html>
- 4) 座位保持装置部品の認定基準及び基準確認方法の策定について <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2007/03/s0323-11.html>
- 5) ISO/CD16840-3 Wheelchair seating- Part3: Postural support devices-test methods for static, impact and repeated load strength.
- 6) ISO16840-3:2006 Wheelchair seating - Part3: Determination of static, impact and repetitive load strength for postural support devices.
- 7) ISO7176-8:1998 Wheelchairs- Part.8 Requirements and test methods for static, impact and fatigue strengths
- 8) JIS T9201:1998 手動車いす
- 9) JIS T9201:2006 手動車いす
- 10) JIS D4606:1994 自動車乗員用ヘッドレストレイント

（資料） 座位保持装置の破損に関するアンケート調査

1. 集計用紙

- ①頭部支持
- ②足部支持
- ③胸ベルト、胸受けパットなどの体幹前方支持
- ④骨盤ベルト、骨盤パットなどの骨盤前方支持
- ⑤座位支持面
- ⑥背支持面

姿勢保持装置のISO規格の改定：破損状態のデータ、データ収集用紙①：頭部支持

対象：姿勢保持装置は車いすシーティングの付加部品として、または車いすシーティングそのものを目的として一般的に使用されます。この調査対象は頭部支持です。

目的：ISO16840-3の作業グループは現在の規格の改定作業を進めています。改訂の参考にするために、姿勢保持装置の破損状態を国際的に調査することになりました。この調査結果を用いて、担当委員会は現在の規格が姿勢保持装置の使用者が経験する一般的破損状態と合致しているかどうかを評価します。

調査のお願い：頭部支持の破損状態に関するあなたの経験をまとめて、この用紙に記入して下さい。

この用紙を以下の宛先に送付をお願いいたします。委員会はこのデータを収集し、次のISO会議（10月ドイツ、ベルリン開催）に報告する予定です。この情報はISO改訂のための必要な項目決定などの作業をする委員会の基礎データとなります。

送付先 359-8555 埼玉県所沢市並木4-1 国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所
廣瀬秀行 FAX:04-2995-3132 Email:hirose@rehab.go.jp

A. 製品について

どのようなタイプの頭部支持ですか？

あなたが提供しているタイプに○を付け、おおよその比率を記入して下さい。

○取り外し可能なブロック形状、高さ調整が可能で、ビニール等のカバーを持つ、合板または硬質プラスチックとクッションからなるもの。 _____%

○取り外し可能なブロック形状、高さおよび前後調整が可能で、ビニール等のカバーを持つ、合板または硬質プラスチックとクッションからなるもの。 _____%

○取り外し可能なコンター形状、高さおよび前後調整が可能で、ビニール等のカバーを持つ、合板または硬質プラスチックとクッションからなるもの。 _____%

○硬質背支持に取り付けられ多数調整が可能なパッドからなりビニール、布、フォームからなる。 _____%

○他（記入してください） _____

B.

次のような問題はどの位の割合で起こりますか。

数字に○をつけてください（1はめったにない ～ 5はしばしばある）。

背支持（バックサポート）に固定されている高さ調整可能な頭部支持

曲がる	1	2	3	4	5
破損	1	2	3	4	5
調整のずれ	1	2	3	4	5

背支持（バックサポート）からの取り外しが可能で、高さと前後調整ができる頭部支持

曲がる	1	2	3	4	5
破損	1	2	3	4	5
調整のずれ	1	2	3	4	5

多方向調整可能な構造の頭部支持

曲がる	1	2	3	4	5
破損	1	2	3	4	5
調整のずれ	1	2	3	4	5

すべり	1	2	3	4	5
<u>パッドカバー</u>					
ほつれ	1	2	3	4	5
パッドフォームの擦り切れ	1	2	3	4	5
表面の劣化	1	2	3	4	5
<u>パッドフォーム</u>					
圧縮性能の低下	1	2	3	4	5
他（記入してください）					

通常使用や部品の位置の変化などで起こった傷害（切ったり、出血したり）がありましたら、チェックして%を記入して下さい。

- 固定された調整できない部品の曲げ、破損、調整の外れ _____%
- 取り外し可能、高さ前後調整可能な部品の曲げ、破損、調整の外れ _____%
- 多方向調整可能構造な部品の曲げ、破損、調整の外れ _____%
- パッドの素材の亀裂や破損 _____%
- 多調整多パッド _____%
- 他（状況と比率を記入してください） _____

あなたがどのようなタイプの製品を年間に提供するか推定して下さい（数量を記入して下さい）。

- _____ 背に固定された調整できない頭部支持
- _____ （バックサポートの）取り外し可能、高さ前後調整可能な頭部支持
- _____ 多方向へ調整可能な頭部支持
- _____ ビニールとフォームパッド
- _____ 布製パッド
- _____ フォームのみ
- _____ 多パッド（複数のパッド）

他（記入してください）

破損の一般的な原因を推定してください。○をつけるか、別の内容の場合は記入してください。

- 製品の不適切な使用
- 誤用、製品寿命
- 製品の設計

C.

回答者の記入をお願いします。

名前 _____

所属 _____

電話 _____

E-mail _____

姿勢保持装置の ISO 規格の改定：破損状態のデータ、データ収集用紙②：足部支持

対象：姿勢保持装置は車いすシーティングの付加部品として、または車いすシーティングそのものを目的として一般的に使用されます。この調査対象は足部支持です。

目的：ISO16840-3の作業グループは現在の規格の改定作業を進めています。改訂の参考にするために、姿勢保持装置の破損状態を国際的に調査することになりました。この調査結果を用いて、担当委員会は現在の規格が姿勢保持装置の使用者が経験する一般的破損状態と合致しているかどうかを評価します。

調査のお願い：足部支持の破損状態に関するあなたの経験をまとめて、この用紙に記入して下さい。

この用紙を以下の宛先に送付をお願いいたします。委員会はこのデータを収集し、次のISO会議（10月ドイツ、ベルリン開催）に報告する予定です。この情報はISO改訂のための必要な項目決定などの作業をする委員会の基礎データとなります。

送付先 359-8555 埼玉県所沢市並木4-1 国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所
廣瀬秀行 FAX:04-2995-3132 Email:hirose@rehab.go.jp

A. 製品について

どのようなタイプの足部支持ですか？

あなたが提供しているタイプに○を付け、おおよその比率を記入して下さい。

- 足首周囲支持 _____%
- 角度調整型足部板 _____%
- 屈曲角度調整足部板 _____%
- 内反・屈曲調整足部板 _____%
- 足部ボックス _____% (参考) → → →
- 左右一体型足部板 _____%
- 他（記入してください） _____%



B.

次のような問題はどの位の割合で起こりますか。

数字に○をつけてください（1はめったにない ～ 5はしばしばある）。

靴固定装置

曲がる	1	2	3	4	5
破損	1	2	3	4	5
調整のずれ	1	2	3	4	5

足首周囲支持

縫い目のほつれ	1	2	3	4	5
バックルの破損	1	2	3	4	5
調節装置の外れ	1	2	3	4	5

角度調節型足部板（屈曲のみ）

曲がる	1	2	3	4	5
破損	1	2	3	4	5
調整のずれ	1	2	3	4	5
すべり	1	2	3	4	5

内反・屈曲調整足部板

曲がる	1	2	3	4	5
破損	1	2	3	4	5
<u>足部ボックス</u>					
曲がる	1	2	3	4	5
破損	1	2	3	4	5
<u>左右一体型足部板</u>					
曲がる	1	2	3	4	5
破損	1	2	3	4	5
他（記入してください） _____					

通常使用や部品の位置の変化などで起こった傷害（切ったり、出血したり）がありましたら、チェックして%を記入して下さい。

- 靴固定装置 _____%
- 足首周囲支持 _____%
- 角度調節型足部板 _____%
- 屈曲角度調整足部板 _____%
- 内反屈曲調整足部板 _____%
- 足部ボックス _____%
- 左右一体型足部板 _____%
- 他（状況と比率を記入してください） _____

あなたがどのようなタイプの製品を年間に提供するか推定して下さい（数量を記入して下さい）。

- _____ 靴固定装置
- _____ 足首周囲支持
- _____ 角度調節型足部板
- _____ 屈曲角度調整足部支持
- _____ 内反屈曲調整足部板
- _____ 足部ボックス
- _____ 左右一体型足部板
- 他（記入してください） _____

破損の一般的な原因を推定して下さい。○をつけるか、別の内容の場合は記入して下さい。

- 製品の不適切な使用
- 誤用、製品寿命
- 製品の設計

C.

回答者の記入をお願いします。

名前 _____

所属 _____

電話 _____

E-mail _____

姿勢保持装置のISO規格の改定：破損状態のデータ、データ収集用紙③：体幹前方支持

対象：姿勢保持装置は車いすシーティングの付加部品として、または車いすシーティングそのものを目的として一般的に使用されます。この調査対象は胸ベルト、胸受けパッドなどの体幹前方支持です。

目的：ISO16840-3の作業グループは現在の規格の改定作業を進めています。改訂の参考にするために、姿勢保持装置の破損状態を国際的に調査することになりました。この調査結果を用いて、担当委員会は現在の規格が姿勢保持装置の使用者が経験する一般的破損状態と合致しているかどうかを評価します。

調査のお願い：体幹前方支持の破損状態に関するあなたの経験をまとめて、この用紙に記入して下さい。

この用紙を以下の宛先に送付をお願いいたします。委員会はこのデータを収集し、次のISO会議（10月ドイツ、ベルリン開催）に報告する予定です。この情報はISO改訂のための必要な項目決定などの作業をする委員会の基礎データとなります。

送付先 359-8555 埼玉県所沢市並木4-1 国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所
廣瀬秀行 FAX:04-2995-3132 Email:hirose@rehab.go.jp

A. 製品について

どのようなタイプの体幹前方支持ですか？

あなたが提供しているタイプに○を付け、おおよその比率を記入して下さい。

- 硬質プラスチック支持 _____ %
- ウェットスーツ生地の一体型支持 _____ %
- 伸びが抑えられているゴム材質 _____ %
- チャックが付いている _____ %
- 単一胸ベルト _____ %
- リュックサックタイプ _____ %
- 他（記入してください） _____

B.

次のようなカテゴリにおける破損は何%位に起こりますか。

- _____ % 付属する金具等の破損
- _____ % 硬質支持材の亀裂や破損
- _____ % クッションカバーの破損
- _____ % クッションフォームの破損
- _____ % 取り外し金具の破損
- _____ % 姿勢支持部品やストラップの分離や紛失
- _____ % 装置の固定部が破損（側方体幹支持、頭部支持など）

他（記入してください） _____

通常使用や部品の位置の変化などで起こった傷害（切ったり、出血したり）がありましたら、チェックして%を記入して下さい。

- 固定金具破損 _____ %
 固定支持素材の亀裂や破損 _____ %
 クッションカバーの破損 _____ %
 クッションフォームの破損 _____ %
 取り外し金具の破損 _____ %
 装置の固定部が破損（側方体幹支持、頭部支持） _____ %
 他（状況と比率を記入してください）

あなたがどのようなタイプの製品を年間に提供するか推定して下さい（数量を記入して下さい）。

_____ 合板とフォームからなる取り外し可能な平面板背支持

_____ 取り外し可能な、背形状支持

_____ 取り外し可能で、挿入タイプの背支持



_____ 取り外し可能なクッションの固定

_____ 調整可能なベルト調整式背支持

_____ 取り外し可能な短い背支持



_____ モールドプラスチックで製作された分

_____ 側方支持がついたディープ形状背支持

他（記述してください）

離できるクッション

破損の一般的な原因を推定してください。○をつけるか、別の内容の場合は記入してください。

- 製品の不適切な使用
 誤用、製品寿命
 製品の設計

C.

回答者の記入をお願いします。

名前 _____

所属 _____

電話 _____

E-mail _____

姿勢保持装置の ISO 規格の改定：破損状態のデータ、データ収集用紙④：骨盤前方支持

対象：姿勢保持装置は車いすシーティングの付加部品として、または車いすシーティングそのものを目的として一般的に使用されます。この調査対象は骨盤ベルト、骨盤パットなどの骨盤前方支持です。

目的：ISO16840-3の作業グループは現在の規格の改定作業を進めています。改訂の参考にするために、姿勢保持装置の破損状態を国際的に調査することになりました。この調査結果を用いて、担当委員会は現在の規格が姿勢保持装置の使用者が経験する一般的破損状態と合致しているかどうかを評価します。

調査のお願い：骨盤前方支持の破損状態に関するあなたの経験をまとめて、この用紙に記入して下さい。

この用紙を以下の宛先に送付をお願いいたします。委員会はこのデータを収集し、次のISO会議（10月ドイツ、ベルリン開催）に報告する予定です。この情報はISO改訂のための必要な項目決定などの作業をする委員会の基礎データとなります。

送付先 359-8555 埼玉県所沢市並木4-1 国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所
廣瀬秀行 FAX:04-2995-3132 Email:hirose@rehab.go.jp

A. 製品について

どのようなタイプの骨盤前方支持ですか？

あなたが提供しているタイプに○を付け、おおよその比率を記入して下さい。

- 車いすに装着されるパッドのついていない布製のベルト _____ %
- 車いすに装着されるパッドのついていない終端が長さ調節できる布製のベルト _____ %
- 布とパッドが滑るようになっている布製のベルト _____ %
- 布とパッドが縫われている終端が長さ調節できる布製のベルト _____ %
- 布とパッドが縫われている布製のベルト _____ %
- ラッチバックル（自動車シートベルト固定）（ベルト全体での比率） _____ %
- 押しボタン式バックル（ベルト全体での比率） _____ %
- 側方外し式バックル（両側をつまんで外せる）（ベルト全体での比率） _____ %
- 他（記入してください） _____

B.

次のような問題はどの位の割合で起こりますか。

数字に○をつけてください（1はめったにない ～ 5はしばしばある）。

編みこみから布が裂ける	1	2	3	4	5
編みこみからほつれる	1	2	3	4	5
装着している時に調整がずれる	1	2	3	4	5
締めることが困難か、時間とともに緩む	1	2	3	4	5
使用中に側方外しバックルが壊れる	1	2	3	4	5
押しボタン式バックルが壊れる	1	2	3	4	5
ラッチバックルが壊れる	1	2	3	4	5
編みこみが裂ける	1	2	3	4	5
編みこみが振じれてパッドの中で狭くなる	1	2	3	4	5
人間をベルトで必要な位置に固定できない	1	2	3	4	5
パッドの柔らかさや形状の変化	1	2	3	4	5
時間とともにパッドがずれる	1	2	3	4	5

他（記入してください） _____

通常使用や部品の位置の変化などで起こった傷害（切ったり、出血したり）がありましたら、チェックして%を記入して下さい。

- 車いすに装着される、パッドのついていない布製のベルト _____
_____%
- 車いすに装着される、パッドのついていない終端が長さ調節できる布製のベルト _____ %
- パッドとはと目が滑るようになっている布製のベルト _____ %
- パッドとはと目が縫われている布製のベルト _____ %
- パッドの終端が長さ調節できる布製のベルト _____ %
- ラッチバックル _____ %
- 押しボタン式バックル _____
_____%
- 側方外し式バックル _____
_____%
- 他（状況と比率を記入してください） _____

あなたがどのようなタイプの製品を年間に提供するか推定して下さい（数量を記入して下さい）。

- _____ 車いすに装着されるパッドのついていない布製のベルト
- _____ 車いすに装着されるパッドのついていない終端が長さ調節できる布製のベルト
- _____ パッドとはと目が滑るようになっている布製ベルト
- _____ パッドとはと目が縫われている布製のベルト
- _____ パッドとはと目が縫われている終端が長さ調節できる布製のベルト
- _____ ラッチバックル (ベルトの上にある%) _____ %
- _____ 押しボタン式バックル (ベルトの上にある%) _____ %
- _____ 側方外し式バックル (ベルトの上にある%) _____ %

他（記入してください） _____

破損の一般的な原因を推定してください。○をつけるか、別の内容の場合は記入してください。

- 製品の不適切な使用
- 誤用、製品寿命
- 製品の設計

C.

回答者の記入をお願いします。

名前 _____

所属 _____

電話 _____

E-mail _____

姿勢保持装置のISO規格の改定：破損状態のデータ、データ収集用紙⑤：座位支持面

対象：姿勢保持装置は車いすシーティングの付加部品として、または車いすシーティングそのものを目的として一般的に使用されます。この調査対象は座位支持面です。

目的：ISO16840-3の作業グループは現在の規格の改定作業を進めています。改訂の参考にするために、姿勢保持装置の破損状態を国際的に調査することになりました。この調査結果を用いて、担当委員会は現在の規格が姿勢保持装置の使用者が経験する一般的破損状態と合致しているかどうかを評価します。

調査のお願い：座位支持面の破損状態に関するあなたの経験をまとめて、この用紙に記入して下さい。

この用紙を以下の宛先に送付をお願いいたします。委員会はこのデータを収集し、次のISO会議（10月ドイツ、ベルリン開催）に報告する予定です。この情報はISO改訂のための必要な項目決定などの作業をする委員会の基礎データとなります。

送付先 359-8555 埼玉県所沢市並木4-1 国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所
廣瀬秀行 FAX:04-2995-3132 E-mail:hirose@rehab.go.jp

A. 製品について

どのようなタイプの固定座支持ですか？

あなたが提供しているタイプに○を付け、おおよその比率を記入して下さい。

- ドロップフックを使用した合板とブロックフォーム _____ %
- ドロップフックを使用した合板とコンターフォーム _____ %
- ドロップフックが使用されていない固定板挿入型 _____ %
- モールド型 _____ %
- 他（記入してください） _____

B.

次のようなカテゴリーにおける破損は何%位に起こりますか。

- _____ % 付属する金具等の破損
- _____ % 支持材の亀裂や破損
- _____ % クッションカバーの破損
- _____ % クッションフォームの破損
- _____ % 取り外し金具の破損
- _____ % 装置の固定部が破損（股関節内転支持など）

他（記入してください） _____

通常使用や部品の位置の変化などで起こった傷害（切ったり、出血したり）がありましたら、チェックして%を記入して下さい。

- | | | |
|---|-------|---|
| <input type="checkbox"/> 固定金具破損 | _____ | % |
| <input type="checkbox"/> 固定支持材質の亀裂や破損 | _____ | % |
| <input type="checkbox"/> クッションカバー破損 | _____ | % |
| <input type="checkbox"/> クッションフォーム破損 | _____ | % |
| <input type="checkbox"/> 取り外し金具の破損 | _____ | % |
| <input type="checkbox"/> 装置の固定部が破損（股関節内転支持など） | _____ | % |
| <input type="checkbox"/> 他（状況と比率を記入してください） | _____ | |

あなたがどのようなタイプの製品を年間に提供するか推定して下さい（数量を記入して下さい）。

_____ ドロップフックを使用した合板とコンターフォーム

_____ ドロップフックを使用した合板とブロックフォーム

_____ ドロップフックが使用されていない固定板挿入型

_____ モールド型

他（記入してください） _____

破損の一般的な原因を推定してください。○をつけるか、別の内容の場合は記入してください。

製品の不適切な使用

誤用、製品寿命

製品の設計

C.

回答者の記入をお願いします。

名前 _____

所属 _____

電話 _____

E-mail _____

姿勢保持装置の ISO 規格の改定：破損状態のデータ、データ収集用紙⑥：背支持面

対象：姿勢保持装置は車いすシーティングの付加部品として、または車いすシーティングそのものを目的として一般的に使用されます。この調査対象は背支持面です。

目的：ISO16840-3の作業グループは現在の規格の改定作業を進めています。改訂の参考にするために、姿勢保持装置の破損状態を国際的に調査することになりました。この調査結果を用いて、担当委員会は現在の規格が姿勢保持装置の使用者が経験する一般的破損状態と合致しているかどうかを評価します。

調査のお願い：背支持面の破損状態に関するあなたの経験をまとめて、この用紙に記入して下さい。

この用紙を以下の宛先に送付をお願いいたします。委員会はこのデータを収集し、次のISO会議（10月ドイツ、ベルリン開催）に報告する予定です。この情報はISO改訂のための必要な項目決定などの作業をする委員会の基礎データとなります。

送付先 359-8555 埼玉県所沢市並木4-1 国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所
廣瀬秀行 FAX:04-2995-3132 Email:hirose@rehab.go.jp

A. 製品について

どのようなタイプの固定背支持（背支持面）ですか？

あなたが提供しているタイプに○を付け、おおよその比率を記入して下さい。

- 合板とフォームからなる取り外し可能な平面板背支持 _____ %
- 取り外し可能な、背形状支持 _____ %
- 取り外し可能で、挿入タイプの背支持 _____ %
- 取り外し可能なクッション背支持 _____ %
- 調整可能なベルト調整式背支持 _____ %
- 取り外し可能な短い背支持 _____ %
- モールドプラスチックで製作、クッションは分離可 _____ %
- 側方支持がついたディープ形状背支持 _____ %
- 他（記入してください） _____ %



B.

次のようなカテゴリーにおける破損は何%位に起こりますか。

- _____ % 付属する金具等の破損
- _____ % 硬質支持材の亀裂や破損
- _____ % クッションカバーの破損
- _____ % クッションフォームの破損
- _____ % 取り外し金具の破損
- _____ % 姿勢支持部品やストラップの分離や紛失

_____ % 装置の固定部が不全（側方体幹支持、頭部支持など）
他（記入してください） _____

通常使用や部品の位置の変化などで起こった傷害（切ったり、出血したり）がありましたら、チェックして%を記入して下さい。

- 固定金具破損 _____ %
 本体支持部の亀裂や破損 _____ %
 クッションカバーの破損 _____ %
 クッションフォームの破損 _____ %
 取り外し金具の破損 _____ %
 装置の固定部が破損（側方支持、頭部支持など） _____ %
 他（状況と比率を記入してください） _____

あなたがどのようなタイプの製品を年間に提供するか推定して下さい（数量を記入して下さい）。

- _____ 合板とフォームからなる取り外し可能な平面板背支持
_____ 取り外し可能な、背形状支持
_____ 取り外し可能で、挿入タイプの背支持
_____ 取り外し可能なクッション背支持
_____ 調整可能なベルト調整式背支持
_____ 取り外し可能な短い背支持
_____ モールドプラスチックで製作された分離できるクッション
_____ 側方支持がついたディーブ形状背支持
他（記入してください） _____

破損の一般的な原因を推定してください。○をつけるか、別の内容の場合は記入してください。

- 製品の不適切な使用
 誤用、製品寿命
 製品の設計

C.

回答者の記入をお願いします。

名前 _____
所属 _____
電話 _____
E-mail _____

（資料）座位保持装置の破損に関するアンケート調査

2. データ集計結果

① 頭部支持

A. 製品について

どのようなタイプの頭部支持ですか？

あなたが提供しているタイプに○を付け、おおよその比率を記入して下さい。

- 取り外し可能なブロック形状、高さ調整が可能で、ビニール等のカバーを持つ、合板または硬質プラスチックとクッションからなるもの。

%	0	1-10	11-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	31-90	91-100
人数	10	12	2	2	0	0	0	0	0	1	0

- 取り外し可能なブロック形状、高さおよび前後調整が可能で、ビニール等のカバーを持つ、合板または硬質プラスチックとクッションからなるもの。

%	0	1-10	11-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	31-90	91-100
人数	7	8	2	3	2	1	0	0	0	2	1

- 取り外し可能なコンター形状、高さおよび前後調整が可能で、ビニール等のカバーを持つ、合板または硬質プラスチックとクッションからなるもの。

%	0	1-10	11-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	31-90	91-100
人数	5	1	2	3	3	1	2	1	2	2	4

- 硬質背支持に取り付けられ多数調整が可能なパッドからなりビニール、布、フォームからなる。

%	0	1-10	11-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	31-90	91-100
人数	15	7	1	0	0	1	1	0	0	1	0

B.

次のような問題はどの位の割合で起こりますか。

数字に○をつけてください（1はめったにない ～ 5はしばしばある）。